

NEWS RELEASE

No.12-3

2012年 5月 17日
(公財)損害保険事業総合研究所

5月25日発刊「損害保険研究」74巻1号のご案内

損保総研では、機関誌「損害保険研究」を5月、8月、11月および2月の年4回発行しており、今般5月25日に第74巻第1号を発行いたします。

本誌は学者と実務家による損害保険ならびにその関連分野に関する研究・調査発表を通じ、研究者・実務家双方にとって有益かつタイムリーな情報を提供することにより、損害保険に係わる学術振興ならびに損害保険事業の発展に寄与することを目指しております。

*第74巻第1号の主な掲載内容

最初に<研究論文>として、**武田昌之**専修大学名誉教授による「自動車交通事故民事損害賠償における複数加害者の責任(補稿)」、**松本恒雄**一橋大学教授による「債権法改正論議の動向と損害保険への影響」、**山野嘉朗**愛知学院大学教授による「吐物誤嚥事故と傷害保険における外来性要件の法的評価」、**小林 毅**中京大学教授による「生損保相互参入の効率性の見地からの評価」の4本を掲載いたしました。

続いて、前号からスタートした<大震災・原発事故シリーズ>では、**卯辰 昇**氏による論文「原子力損害賠償法における責任集中原則と国家補償」に加えて、**日本損害保険協会**(震災対応記録編集プロジェクトチーム)による寄稿「東日本大震災に対する損害保険業界の対応」を掲載し、保険研究者や実務家のみならず、地震保険に関心のある皆様にとって大変興味深い内容となっております。

また、研究ノートとして、**梅田篤史**氏による「今日の高齢生活者のリスクマネジメントと損害保険の役割に関する考察」と**比護正史**弁護士による「民事訴訟法の改正と国際裁判管轄」の2本を掲載いたしました。

このほか、当研究所が主催している「損害保険判例研究会」の報告2本と「損害保険研究費助成制度」の応募受付案内ならびに損保総研レポートを掲載いたしました。

*次号の掲載内容について

第74巻第2号(2012年8月号)では、保険研究者および実務家による6本の論稿に加え、<大震災・原発事故シリーズ>第3弾として、**佐藤大介**大分大学教授による論文「原子力損害賠償制度に対する原子力損害賠償支援機構の影響—原子力事業者共済の可能性—」の掲載を予定しております。読者の皆様の関心が高い分野と思われまますので、是非ご期待ください。

本件に関するお問い合わせ先

〒101-8335 千代田区神田淡路町2-9
公益財団法人 損害保険事業総合研究所
編集室 佐藤 修三 TEL 03-3255-5513

ご掲載いただけます場合には、掲載日をお知らせ下さいますようお願い申し上げます。

この資料は、保険関係業界紙各社へ同時に配布しております。